

早良区少年愛護パトロール員だより

～地域の安全・安心のために、協力してパトロールでの声かけをお願いします～

令和2年3月5日/編集・発行 地域支援課振興係



今年度も残すところあと1か月余りとなりました。少年愛護パトロール員の皆様、日々のパトロール活動ありがとうございます。

1年間の活動の振り返りと残りの活動のさらなる充実を目的に、最後の研修を行いました。

1 第3回 早良区少年愛護パトロール員研修会

日時・場所 令和2年2月6日(木) 早良市民センター

参加者 令和元年度 早良区少年愛護パトロール員(31名)

講師 福岡県 安全安心まちづくりアドバイザー 金子 昌隆 さん

演題 『地域とともに築く、コミュニティのある安全安心まちづくり』



○あなたの思い、その言葉、伝わっていますか？

プロカメラマン時代に経験した、ある中学校の卒業アルバムの写真のことで、教師と生徒の思いの違いからトラブルが生じました。この事件で、自分の思い、相手の思いを伝え合うコミュニケーションがいかに大切かを学びました。このことが、今も行っているパトロール中の声掛けにも役に立っています。

○皆さんとともに築いている安全安心な地域・・・体感治安はどうですか？

事件の発生件数は減ってきたといわれていますが、皆さんの感覚はいかがですか。まだまだ福岡だけでなく全国的にも治安が良くなったとは断言はできないと思われます。

これからも、私たち地域の力は必要なのです。

○子ども、高齢者、女性が犯罪に遭遇することが多い。

最近の犯罪の傾向として子どもや高齢者、また女性が被害者になる傾向が顕著になっています。性犯罪、ひったくりなども増えています。防犯ベルの利用や日頃からの防犯への心がけも大切です。

○地域安全推進活動・・・あの事件から始まった。

地域の安全推進活動にかかわるようになったきっかけは、子どもが通う小学校のPTA会長をしていた時に、生徒が命にかかわる事件に巻き込まれたことです。

この事件を受けて、児童を守るために次のことを取り組みました。

○事件後、児童を守るための取り組み「4つの要素」

・対策

〔 110番の家 青色パトカーの規制緩和
集団登下校指導 腕章着用運動 〕



・体制

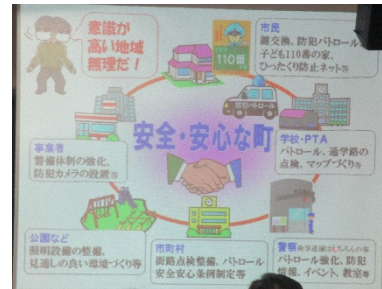
〔 118 班グループ（2～3 軒両隣） 防犯メールの配信
児童の安全を守る地域連絡会議 〕

・環境

〔 警察力の強化（警察署分署活動） 危険箇所調査と改善依頼
校区，行政区を超えた連携 商店への協力依頼 〕

・ケア

〔 不安解消（同伴登校） 大人の技能，力量をつける
防犯，育成講座で意識改革 保護者 OB でつくる開放クラブ 〕



○生活の中に、ついでに・・・ながら運動、瞬間ボランティア

活動の中で時間の制約があることが新たな問題となり、買い物や散歩時にも腕章着用して行う、ながら運動や、時間割を決めた見守り活動で負担の軽減を図りました。

○深層心理に訴える抑止効果・・・誰でもできる対策は身近にある。

110 番の家や子どもを見守る店などの掲示板を多く掲げることで、町をあげて防犯に努めているという印象を与えることができ、抑止力にもつながるのではないのでしょうか。また、新聞配達業者の方にも協力していただき、配達用バイクに「パトロール中」のステッカーをお願いすることで、早朝の防犯にもなりました。

○あなたが目撃したものは・・・「これは何でしょう？」

パトロール中だけでなく、普段の生活の中でも、不審者と出会うことはあるかも知れません。しかし不審者を見抜くためには観察力も必要です。おかしいなと感じたら、あいさつや何気ない会話をすることも抑止力になります。

○事故災害は突然に・・・こんな時あなたはどうします？

突然の事故や事件に遭遇した時、通報とともに応急処置が必要な場合があります。今回は手の骨折等に対する添え木固定の方法と、リュックを使ったおんぶ搬送の方法を説明します。添え木代わりに雑誌等を使い、三角巾代わりにレジ袋を利用することもできます。おんぶ搬送ではリュックをさかさまにして負傷者の足を通し、搬送者が腕を通して肩に担ぐことで楽に担ぐことができます。

○最後にまとめとして。

日頃から子どもたちの自尊心を育てることを念頭に置いて、コミュニティを大切にしていきたいものです。子どもたちの良いところを探して、ほめる。励ます。そして「ありがとう」という感謝の言葉をかけることで、自尊心は育っていきます。反対に、叱ってばかりや押し付けてばかりでは、劣等感を持ったり、反抗心が育ったりするものです。

地域活動を通して子どもたちを守っていることは、自分や自分の家庭が守られていることにもなるのではないのでしょうか。

これからも『自助』『共助』『公助』とともに『近所』も大切にしていきたいと思います。

2 講演を聴いての感想（抜粋）

- ・お話の最初から、心をわしづかみにされました。見守り方法としてのリレー方式（バス停方式）は良いアイデアだと思いました。
- ・盛りだくさんの内容で、身近な話ということもあり、たいへんきょうみぶかく、お話も上手で面白く最後まで楽しく聞くことができました。ありがとうございました。
- ・隣の人ともつながりがないような世の中になりつつありますが、地域のコミュニケーションがよりよいまちづくりになると再認識しました。いざという時の身近な物の活用術も参考になりました。
- ・子育てに通じるものがあり、とても勉強になりました。
- ・すごくテンポがよく、聞きやすいお話でした。安全安心なまちづくりのための必要なことがわかり、とてもためになりました。
- ・金子さんの日々の努力と取り組みにすごいなと感じました。気持ちの持ち方次第でいろいろな接し方ができるなと思いました。
- ・実際に過去に起こった事件などを思い出し、これからの生活の中で生かしていきたいお話を聞かせていただきました。
- ・音による演出や身振り手振りを交えてのお話は、とても聞きやすく勉強になりました。
- ・お話に出てきた「ついで隊」などの発想の転換はとても印象的でした。何か方法がないか、あきらめる前に考えていくことが大切だなと感じました。
- ・日頃の生活の中でできる範囲で、瞬間ボランティアでもよいと思えば気負わずに活動できると思いました。
- ・安全安心のために、金子さんの活動が多岐にわたっていることに感服しました。親として、また地域社会の一員として、私にももっとできることがあるのだといろいろと気づかされる話でした。
- ・大人の目、地域の目による見守りがいかに大切であるかということがよくわかりました。また、ほめること、あいさつをすることも大切であることを再認識できました。
- ・地域の安全安心まちづくりに参考になりました。「110番の家」の勧誘の仕方や「バス停方式」の見守り方法など参考になりました。
- ・いろいろな危険なことが、身近にあるのだなと実感しました。
- ・見守りの方の高齢化はとても感じている。心配とともに、新しい協力も必要になってきていると思う。そのような中で、まわりの巻き込み方がとても参考になりました。
- ・改めて、日常の言動について振り返ることができました。声掛けの際には今日のお話の内容を活かしていきたいです。

3 1年間のパトロール活動を終えて

① 感じられることや気づきについて書いてください。

- ・車で回るよりも、子どもたちの目線（一緒に歩く）でみると全然違ったものが見えてきました。
- ・夜のパトロールは女性より男性のほうがいいのではないかな。女性一人で動くのはちょっと声かけづらいし、怖かったです。
- ・子どもたちはいろいろな方々に見守られているんだなと、つくづく思いました。これからもできる範囲で見守りの視点で動こうと思っています。
- ・今まで気にならなかった危険箇所などに、目が向くようになりました。
- ・少年愛護パトロール員の活動を通して、地域の方々もたくさん協力してくださっていることを知り、ありがたく思いました。

- 中学の部活動生の荷物の多さに、いざという時に逃げられないだろうと思いました。
- 通学路の歩道の狭いところが多く、車道の幅もぎりぎりなので仕方がないとしても、どうにかならないものかと思います。せめて、民家の植栽のはみ出しはどうかしていただき、歩道を確保してほしい。
- 無灯火の自転車が多く、今後も声掛けしていきたい。

② 安全・安心の校区づくりの観点から、非行防止・青少年の健全育成について思うことを、ご記入ください。

- 区役所への連絡手段として、校区の情報を、気づいたその場で LINE 等を使って送信できるシステムがあるとありがたい。
- 研修会の結果など、町内やアパート・マンションの掲示板に貼って、多くの人にも考えていただけたらよいと思う。
- 学校や保護者以上に地域の力が大切だと思う。
- 町内の行事などを通して、いろいろな方とコミュニケーションをとることで、子どもの名前を覚えていただいで登下校時の声掛けにつながっている。
- 自分の子どもだけでなく、近所や地域の人たちと積極的にコミュニケーションをとることが大切だと感じている。
- 人として恥ずかしくない行動を、自ら子供に見せて学ばせたい。

③ 4月以降の新たなパトロール員に伝えたい事を、自由にご記入ください。

- 親としても、とても勉強になる研修も多く、パトロール員になったことで得たものも大きいです。
- 自分一人でやっているのではなく、地域の諸団体と一緒に活動しているという意識が大切である。
- 子どもに対して叱るのではなく、愛情をもって接してほしいとお願いしたい。
- 自分を含め、家族が何事もなく日々生活できるのは、パトロール員、地域の方、行政等の活動により守られて安全安心な生活ができていますので、自分が協力できることは進んで活動に参加して、自分自身も楽しんでほしいと思います。
- やれる時にやれることをやれる範囲で無理せずに活動してください。
- 少年愛護パトロール員は、やりがいのある活動でした。

☆今後（年度内）のパトロール活動について

- ※ 報告書を書いているが提出されていない方、どうぞご提出お願いいたします。
- ※ 皆さま、寒い中でのパトロールですが、可能な範囲でのパトロールをよろしくお願いします。
- ※ 校区では様々なパトロールの機会があると思います。地域パトロールの機会に限らず、日常生活の中で感じたことやお気付きの点など、“生活者”としての視点で、ご報告お願いします。
- ※ 未使用の報告書については、校区青育連(青少協)で保管し、次年度の委員さんへの引継ぎをお願いします。

一年間、ありがとうございました。これからも各校区の子どもたちの健全育成と安全安心なまちづくりにご協力をお願いします。